

事業計画書

事業名	佐久地域まち映画製作事業		
重点テーマへの該当	有 テーマを記載		
	無		
実施箇所	佐久地域全域		
実施期間	事業開始予定年月日	令和2年	4月 1日
	事業終了予定年月日	令和3年	2月 15日
事業概要	<p><事業の目的> 地域の文化は、人々に楽しさや感動、精神的な安らぎや生きる喜びをもたらす人生を豊かにするとともに、愛郷心や豊かな人間性、創造性を育んできました。しかし現代社会において、生活環境は目まぐるしく変化し、人々が地域の様々な文化に触れる機会は著しく減少していく中で、社会の価値観は『ものの豊かさ』や『効率』を重視するようになり、『個性を競争させる時代』へと傾いています。 このような時代の中で、人々に生きがいや心のよりどころを与え、地域社会を支える基盤でもある地域の様々な文化の役割は、かつてないほど重要なものとなってきています。 以上の理由から、佐久地域の魅力ある様々な地域文化の発信・普及をとおり、地域住民に郷土愛を育む機会を与えることを目的とし、本事業を展開します。</p>		
	<p><事業の内容> ・名称 佐久地域まち映画製作事業 ・完成 2020年10月 ・対象 佐久地域住民 ・内容 佐久の文化発信普及のため『まち映画』の製作と上映をします。 『まち映画』とは特定の地域を舞台とし、そこに住む人たちが出演、または何らかの役割を担い参画することで、自分たちの住む地域の魅力・歴史・文化に対する郷土愛を育み、もって地域の活性化を図ることのできる映画のことです。 監督には、これまで多くの『まち映画』を手掛けてきた経験をもつ藤橋誠氏を起用します。※別紙【藤橋監督の経歴】、【監督選定理由書】参照 映画製作の詳細については、年間計画に記載します。</p>		
	<p><達成目標> 佐久地域の市町村の総人口129,706人の中で、まち映画を通して約12,472人（内訳として、撮影に関わる人数：約100人、小中学生：約10,000人、映画館での視聴者数：60人/日×14日=840人、DVD視聴者：450枚×平均世帯人数2.47人=1,112人、合計：約12,052人 佐久地域の総人口の約9.3%）が地域の文化に触れ、地域の魅力を発見・再認識し郷土愛を育む機会を得ることができます。また、約10,000人が小中学生であることから、未来の地域社会を担っていく人材の育成にも繋がります。 映画館での放映、DVD配布、小中学校での鑑賞終了後、効果の検証と今後の地域文化普及に、より必要なことを明確にするため、アンケートを行い今後のより良いまちづくりに活用していきます。 ※人口・学生数については各市町村の統計の直近の情報を合計しました。 ※視聴者数は映画館に聞き取りを行い実現可能な人数を記載しました。</p>		
	<p><広報表示の方法（佐久市まちづくり活動支援金事業である旨の表示）> 映画のオープニング、エンディングクレジットにて『佐久市まちづくり活動支援金事業』と記載します。また印刷物やDVDパッケージにも同様に『佐久市まちづくり活動支援金事業』と記載します。</p>		
<p><重点テーマに該当する場合 該当する理由（アピール）></p>			

年間計画	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・出演者募集（4/13～5/8） 地域協働を推進するため、佐久地域から出演者を募集します。募集方法としては、学校への募集チラシ配布、地域情報誌への掲載、地元ラジオでの放送を行います。これらについて、各種団体・組織と連携して進めていきます。
	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・オーディション実施（5/25～6/10） 書類選考は行わず全て対面にて行います。また演技経験の有無を重視せずに、様々な観点から審査します。審査は、監督、演技トレーナー、佐久青年会議所メンバーで行います。オーディションシートの配布先内訳としては、小中学校10,000枚、地域情報誌への折込5,000枚、商業施設等5,000枚となります。
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・脚本製作（6/15～6/30） 『様々な成長』をテーマとし（予定）脚本を製作します。脚本には監督と佐久青年会議所メンバーで決定していきます。また、上映先である佐久アムシネマ放映担当の関口氏にもご協力いただきながら、公共性のある内容の映画を作っていきます。※別紙【内容・あらすじ例】参照
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・演技練習（7/6～7/30） 監督の映画製作チームの演技トレーナーに指導していただき、日程や時間については出演者の日常生活に負担のないように調整します。また映画製作終了後も、出演者がそれぞれの地域で文化の担い手として活躍できるよう、地域文化を学ぶ時間を設けるとともに、出演者同士が、その後も繋がりを継続できるような関係づくりの場としていきます。 ・撮影準備（7/15～7/30） 撮影の許可、道路使用許可等の準備を7月15日から行います。
	8月	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影（8/3～8/20内1週間程度） 撮影期間は8月初旬の1週間程度とします。撮影各シーンについては、佐久地域の文化のみならず、名所・特産品・自然等の地域の魅力を多く織り込むことで、地域内の方にとっては親しみを持ちつつその魅力を再認識できるように、地域外の方にとっては魅力を知るきっかけとなるような作品にしていきます。※別紙【撮影候補地等まとめ】参照
	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・編集及び広報（9月～10月） 撮影終了後から、監督を中心とする映像編集チームによる編集を行います。また、広報については事業開始時からSNSや佐久青年会議所HPで経過報告を交えて継続して行い、撮影終了後からポスターの張り出し（小中学校、商業施設、コンビニエンスストア、書店等へ計500枚）、上映前にチラシの配布（小中学校に10,000枚、情報誌への折込5,000枚、商業施設等5,000枚）を順に行っていきます。
	10月	
	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・映画館での上映（11月） 佐久地域内の2か所の施設で完成披露上映会を行います。また、期間上映をアムシネマ佐久にて、1日2回上映を2週間程度行います。
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・DVD製作・配布・アンケート実施検証（12月～2月） 佐久地域の文化をはじめとする魅力の数々をより多くの方に発信していくためにDVDの製作・配布をします。配布箇所としては、佐久地域内の小中学校や役場、図書館、書店等を予定しています。小中学校には故郷を知るための教材として鑑賞していただけます。DVDの配布については、一人でも多くの方に見ていただくために無償で行います。また、映画視聴者を対象にアンケートを実施し、今後のより良いまちづくりのために活用できるようにしていきます。
	1月	
2月		

<p>地域や社会にどのような利益がもたらされるか</p>	<p><「公益性」の視点> 佐久地域の市町村の総人口129,706人の中で、まち映画を通して約12,472人(内訳として、撮影に関わる人数:約100人、小中学生:約10,000人、映画館での視聴者数:60人/日×14日=840人、DVD視聴者:450枚×平均世帯人数2.47人=1,112人、合計:約12,052人 佐久地域の総人口の約9.3%)が地域の文化に触れ、地域の魅力を発見・再認識し郷土愛を育む機会を得ることができます。また、そのうち約10,000人が小中学生であることから、未来の地域社会を担っていく人材の育成にも繋がります。 ※人口・学生数については各市町村の統計の直近の情報を合計しました。 ※視聴者数は映画館に聞き取りを行い実現可能な人数を記載しました。</p>
<p>どのような点に独自性や工夫があるか</p>	<p><「発想の豊かさ」や「創意工夫」の視点> 製作する映画には佐久地域の観光資源や文化、自然等の様々な魅力を盛り込み『佐久の映画』というイメージを強く押し出していきます。 創意工夫としては、様々な人や団体が、様々な場所・場面で映画を活用していただくことができるよう、無償にて提供していきます。特に地域内の小中学校については、文化を学ぶ授業の一環として鑑賞できる作品にします。</p>
<p>市内へどのように取組が波及していくか見込まれるか</p>	<p><「波及効果」や「発展性」の視点> 小中学生には、自身が住み暮らす故郷を知ることにより郷土愛を育むことのできる教材として、また観光面においては、佐久地域のPR動画としても活用することができ、観光客誘致や特産物の販売促進等にも繋がります。</p>
<p>活動を継続するためにどう取り組むか</p>	<p><「自立性」の視点> 資金面としては、希望者には作品映像内に登場していただくことで広告料として資金提供をしていただきます。映画本編の前に企業のCMを入れる、本編の一幕に直接背景として登場する等により、映画を広告媒体として活用していただきます。</p>
<p>翌年度以降の活動内容概要</p>	<p>毎年異なるテーマ設定を行い、佐久地域の様々な魅力を映像の中に盛り込んで製作をしていきます。また、過去の作品についても、地域内での上映会、各所映画祭への出品、インターネットを活用した動画サイトへの投稿等を視野に入れ、地域内外のより多くの人に視聴していただけるようにしていきます。</p>
<p>事業の最終目標</p>	<p>佐久地域の人々が本事業をとおして、郷土の魅力について深く考えることで、郷土愛を育み、地域に誇りを持ち、地域に根ざして生活していくことができるようにします。また、事業を継続的に行っていくことで、郷土を愛し、地域に貢献することができる人材を増やし続けていきます。</p>

特記事項